

不祥事根絶のための行動計画

福山市立中央中学校
校長 池本 泰明

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○サービス研修において、自分自身の課題として捉えることが必要である。	○サービス研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施して研修効果が実感できるようにする。 ○規範意識に関わる目標設定をする。	○すべての教職員を対象にサービス研修に係るアンケート調査を行い、方法や内容等を改善する。	○サービス点検についてのアンケート調査を行い、今後の取組に生かす。 ○管理職が定期的に面談し、指導助言を行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○時間に追われ、多忙からくる不祥事の危険性がある。	○主任・主事を中心とした機動力ある組織を目指す。 ○業務改善を行い、組織で協働して職務を遂行できるようにする。 ○未然防止の意識を高める。	○学年会や各分掌等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 ○「凡事徹底」を追求し、意識の高い、美しい教育環境づくりに努める。	○企画委員会、不祥事防止委員会で、情報交換を行い、状況を把握する。
相談体制の充実	○「体罰、セクシャル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返しているが、相談しやすい体制をつくる。	○「体罰、セクシャル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。	○学校だよりで保護者等に周知するとともに、校舎内にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○個人面談、三者懇談を通して、体罰、セクハラについて聴取する。	○学期末に生徒、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。 ○学年会、分掌会、不祥事防止委員会で、聴取した内容を交流する。